



2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月6日

上場会社名 京王電鉄株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9008 URL https://www.keio.co.jp/
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 都村 智史
 問合せ先責任者（役職名） 経営統括本部経理部（氏名） 宮邊 佳 (TEL) 042-337-3135
 経理担当課長
 半期報告書提出予定日 2024年11月14日 配当支払開始予定日 2024年11月29日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	214,189	16.4	31,734	32.7	31,205	32.3	25,124	46.0
2024年3月期中間期	184,058	15.9	23,908	153.9	23,581	146.4	17,214	305.3

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 23,284百万円(△16.7%) 2024年3月期中間期 27,965百万円(728.8%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	205.76	—
2024年3月期中間期	140.98	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	1,056,011	413,009	39.1
2024年3月期	1,079,388	393,930	36.4

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 412,927百万円 2024年3月期 393,183百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	22.50	—	30.00	52.50
2025年3月期	—	50.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	470,000	15.0	55,000	25.5	53,600	23.3	41,000	40.2	335.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 有

新規 1社(社名) 株式会社京王SCクリエイション

除外 1社(社名) 京王地下駐車場株式会社

(注) 詳細は、【添付資料】9ページ「(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等)」をご覧ください。

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、【添付資料】7ページ「(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、【添付資料】7ページ「(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期中間期	128,550,830株	2024年3月期	128,550,830株
2025年3月期中間期	6,437,258株	2024年3月期	6,442,436株
2025年3月期中間期	122,108,992株	2024年3月期中間期	122,109,825株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

(注) 自己株式に含めている役員報酬信託口が保有する当社株式数は以下のとおりであります。

2025年3月期中間期(当期末) : 103,400株 2024年3月期 : 109,300株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

業績予想に関する事項は、本日T D n e tで開示した「2024年度第2四半期(中間期)決算補足説明資料」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 中間連結貸借対照表	3
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

1. 経営成績等の概況

当該内容は、本日T D n e tで開示した「2024年度第2四半期(中間期)決算補足説明資料」をご覧ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	73,064	58,550
受取手形、売掛金及び契約資産	59,650	45,338
商品及び製品	23,144	23,047
仕掛品	81,984	97,148
原材料及び貯蔵品	2,502	2,544
その他	7,956	8,954
貸倒引当金	△18	△20
流動資産合計	248,285	235,563
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	331,028	323,152
機械装置及び運搬具(純額)	24,378	22,628
土地	243,286	241,459
建設仮勘定	86,746	90,968
その他(純額)	16,059	16,192
有形固定資産合計	701,499	694,401
無形固定資産		
投資その他の資産	21,886	21,264
投資有価証券	78,133	75,794
退職給付に係る資産	14,464	14,411
繰延税金資産	2,794	2,342
その他	12,463	12,372
貸倒引当金	△139	△139
投資その他の資産合計	107,717	104,781
固定資産合計	831,103	820,447
資産合計	1,079,388	1,056,011

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	24,413	16,611
短期借入金	99,741	107,180
未払法人税等	8,850	7,438
前受金	38,390	38,014
契約負債	13,787	15,488
賞与引当金	4,155	5,247
その他の引当金	3,089	2,700
その他	82,405	52,243
流動負債合計	274,834	244,923
固定負債		
社債	170,100	170,100
長期借入金	165,511	153,704
繰延税金負債	5,582	4,466
退職給付に係る負債	18,212	18,152
資産除去債務	15,414	15,451
その他の引当金	491	419
その他	35,311	35,783
固定負債合計	410,624	398,077
負債合計	685,458	643,001
純資産の部		
株主資本		
資本金	59,023	59,023
資本剰余金	42,288	42,324
利益剰余金	284,367	305,971
自己株式	△19,783	△19,755
株主資本合計	365,896	387,564
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	22,636	21,143
繰延ヘッジ損益	75	76
為替換算調整勘定	16	13
退職給付に係る調整累計額	4,558	4,129
その他の包括利益累計額合計	27,287	25,363
非支配株主持分	746	81
純資産合計	393,930	413,009
負債純資産合計	1,079,388	1,056,011

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業収益	184,058	214,189
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	135,667	154,810
販売費及び一般管理費	24,482	27,644
営業費合計	160,150	182,455
営業利益	23,908	31,734
営業外収益		
受取利息	9	11
受取配当金	673	802
持分法による投資利益	101	122
雑収入	542	547
営業外収益合計	1,325	1,484
営業外費用		
支払利息	1,579	1,828
雑支出	73	184
営業外費用合計	1,652	2,012
経常利益	23,581	31,205
特別利益		
固定資産売却益	148	1,415
工事負担金等受入額	89	138
その他	—	51
特別利益合計	238	1,605
特別損失		
固定資産撤去損失引当金繰入額	—	445
固定資産除却損	147	153
固定資産圧縮損	50	9
その他	108	128
特別損失合計	305	737
税金等調整前中間純利益	23,514	32,074
法人税等	6,283	6,866
中間純利益	17,231	25,208
非支配株主に帰属する中間純利益	16	83
親会社株主に帰属する中間純利益	17,214	25,124

中間連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	17,231	25,208
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,206	△1,494
繰延ヘッジ損益	△16	0
退職給付に係る調整額	2,537	△428
持分法適用会社に対する持分相当額	5	△1
その他の包括利益合計	10,733	△1,923
中間包括利益	27,965	23,284
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	27,948	23,200
非支配株主に係る中間包括利益	16	83

(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当中間連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。これによる中間連結財務諸表に与える影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当中間連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前中間連結会計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の中間連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。これによる前中間連結会計期間の中間連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

共通支配下の取引等

1. 会社分割による連結子会社への事業承継

当社は、2023年12月26日開催の取締役会において、当社完全子会社の「株式会社京王SCクリエイション」を設立し、簡易吸収分割の方法により、当社が営む商業施設運営事業(ショッピングセンター事業および不動産賃貸業の一部)を株式会社京王SCクリエイションに承継させることを決議し、2024年7月1日付で実施しました。

(1) 取引の概要

①対象となった事業の名称及びその事業の内容

名称	商業施設運営事業
事業の内容	・主要駅における大型ショッピングセンターの運営 ・駅至近の商業施設の展開 他

②企業結合日

2024年7月1日

③企業結合の法的形式

当社を分割会社、株式会社京王SCクリエイションを承継会社とする簡易吸収分割です。

④結合後企業の名称

結合後の株式会社京王SCクリエイションの名称に変更はありません。

⑤その他取引の概要に関する事項

当社および一部の連結子会社に分散している商業施設運営事業を集約し、業務効率化、専門的な人財の確保・育成、運営ノウハウの集積の実現を目指すとともに、商業施設の一体的運営を通じて、グループ全体のさらなる利益拡大および魅力あるまちづくりに取り組むため、本分割が必要であると判断するに至りました。

(2) 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」および「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」に基づき、共通支配下の取引として処理しております。

2. 連結子会社の吸収合併

当社は、2023年12月26日開催の取締役会において、当社完全子会社の京王地下駐車場株式会社について、すべての事業を吸収分割にて株式会社京王S Cクリエイションに移管したのち、当社に吸収合併することを決議し、2024年7月1日付で実施しました。

(1) 取引の概要

①被結合企業の名称及び事業の内容

名称	京王地下駐車場株式会社
事業の内容	・駐車場の経営および管理業 ・不動産の賃貸および管理業 他

②企業結合日

2024年7月1日

③企業結合の法的形式

当社を存続会社、京王地下駐車場株式会社を消滅会社とする簡易吸収合併です。

④結合後企業の名称

結合後の当社の名称に変更はありません。

⑤その他取引の概要に関する事項

当社および一部の連結子会社に分散している商業施設運営事業を集約し、業務効率化、専門的な人財の確保・育成、運営ノウハウの集積の実現を目指すとともに、商業施設の一体的運営を通じて、グループ全体のさらなる利益拡大および魅力あるまちづくりに取り組むため、本合併が必要であると判断するに至りました。

(2) 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」および「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」に基づき、共通支配下の取引として処理しております。

(セグメント情報等)

前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	運輸業	流通業	不動産業	レジャー・サービス業	その他業	合計	調整額 (注)1	中間連結 損益計算書 計上額 (注)2
営業収益	60,107	48,330	29,577	34,151	26,853	199,020	△14,962	184,058
セグメント利益	8,883	2,074	7,342	4,483	1,133	23,917	△9	23,908

(注) 1. セグメント利益の調整額はセグメント間取引消去額です。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	運輸業	流通業	不動産業	レジャー・サービス業	その他業	合計	調整額 (注)1	中間連結 損益計算書 計上額 (注)2
営業収益	66,437	50,835	42,420	38,440	31,610	229,743	△15,553	214,189
セグメント利益	13,218	2,186	9,078	6,233	1,229	31,947	△212	31,734

(注) 1. セグメント利益の調整額はセグメント間取引消去額です。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループでは、商業施設運営事業再編の一環として、2024年4月1日付で連結子会社である株式会社京王SCクリエイションを設立いたしました。これに伴い、当中間連結会計期間より、従来「流通業」に属していた「ショッピングセンター事業」を、「流通業」の「百貨店業」および「不動産業」の「不動産賃貸業」に区分変更しております。なお、前中間連結会計期間のセグメント情報については変更後の区分により作成したものを記載しております。

(重要な後発事象)

1. 自己株式取得に係る事項

当社は、本日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項について決議いたしました。詳細は本日公表の適時開示情報「自己株式取得に係る事項の決定に関するお知らせ(会社法第165条第2項の規定による定款の定めに基づく自己株式の取得)」をご覧ください。

2. 京王線におけるホームドアおよび自動運転設備の整備工事

当社は、本日開催の取締役会において、京王線での自動運転設備を活用したワンマン運転の実施に向け、京王線におけるホームドア整備工事および自動運転設備の整備工事を実施することを決定いたしました。詳細は本日公表の適時開示情報「京王線におけるホームドアおよび自動運転設備の整備工事について」をご覧ください。